

新規コンテンツPLAN提案書

Click Study

2010・1・7

提案者 ○○○○

1. 提案理由
2. 企画背景
3. 参考資料 1
4. 参考資料 2
5. 参考資料 3
6. 参考資料 4
7. 参考資料 5
8. 企画提案意図
9. 具体案(全体像)
10. 具体案
11. 具体案
12. 具体案
13. 具体案
14. 具体案
15. 具体案(カスタムメイキング)
16. メリット・デメリット・問題点
17. 運営指針・計画 1
18. 運営計画 2

提案理由

状況

- ・世界情勢はグローバル化
- ・経済、環境、平和維持(テロや核拡散)など国、大陸だけでは解決出来ない問題が地球規模で多く山積しています。

問題

- ・言語分野に重点を置き、考えた場合。通訳・翻訳機能が充分有用と理解した上で、通訳、翻訳機能の向上は人間の本来あるべき姿の機能を低下させているのではないのでしょうか？
- ・多くの方が財産である、人間の考える力、コミュニケーションする能力を再認識する必要性を感じているのではないのでしょうか？

結論

- ・世界共通語である英会話能力の向上と共に、世界のどんな場所からでも多言語習得を可能にする勉強システムの構築は、世界の人々を笑顔に導くと確信しています。
- ・世界共通認識であろう画像を使用しての新コンテンツの立ち上げは、将来、地球を支えるであろう子供達への投資と共に、現在支える人達の自己レベルアップにも役立つと考えます。

企画背景

国内

・小、中、高校と国内の学校教育のあり方による英会話能力は、果たして向上しているのだろうか？

需要

・英会話教室の増加
・TOEIC受験者数増加
・多国語の会話本による発行部数の増加

インターネット

・翻訳機能を充分活用したサイトはあるものの勉強や会話能力向上に特化したサイトは少数である。(参考: en101、ロゼッタストーンソフトなど)

・言葉は文化そのものでインターネット等で、事前に言葉に触れてから留学や観光したいと思う人も多く存在している。

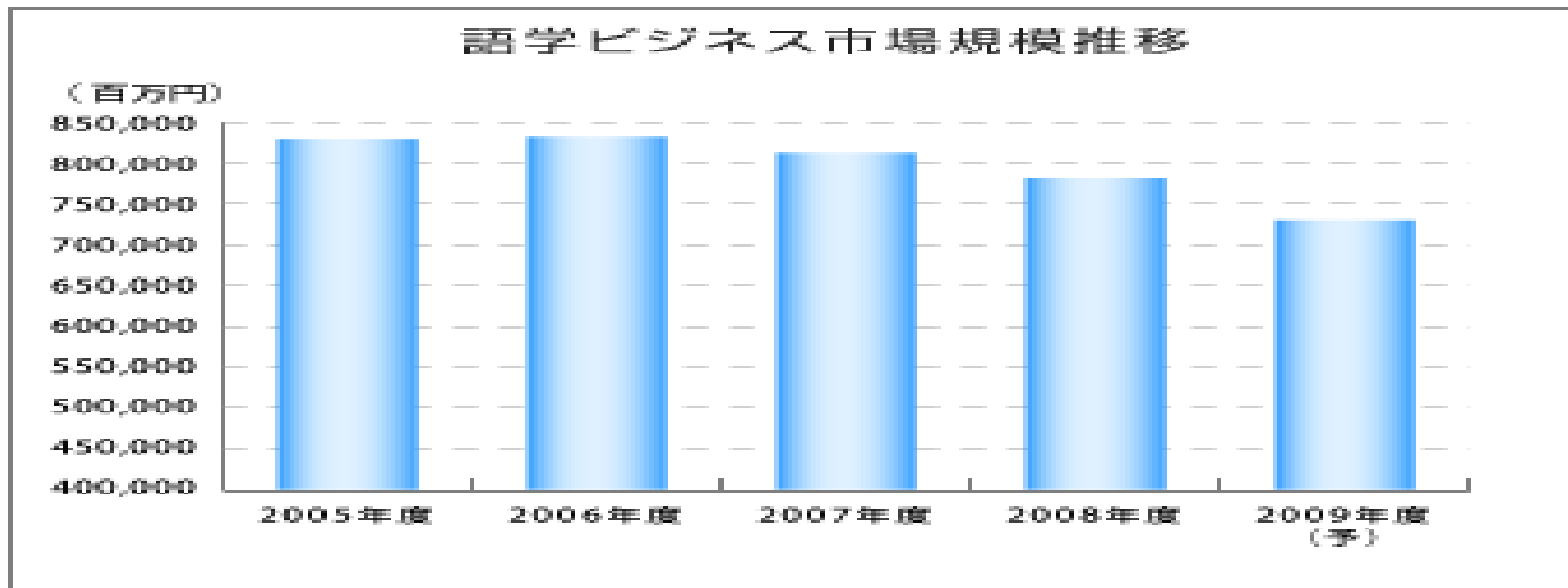
世界

・グローバル化も含め、個人の趣味趣向の多様化から、他国語言語を取得する人も見られる。

留学・観光客の増加
(総務省出入国管理局データ・国土交通省観光白書データより)

・世界では携帯電話の加入者数は高い成長を続けています。コンテンツ発信を有効に活用すべきでしょう。(参考: iPhoneアプリケーションキク☆英単語など)

参考資料 1



【注】事業者売上高ベース

(矢野経済研究所推計)

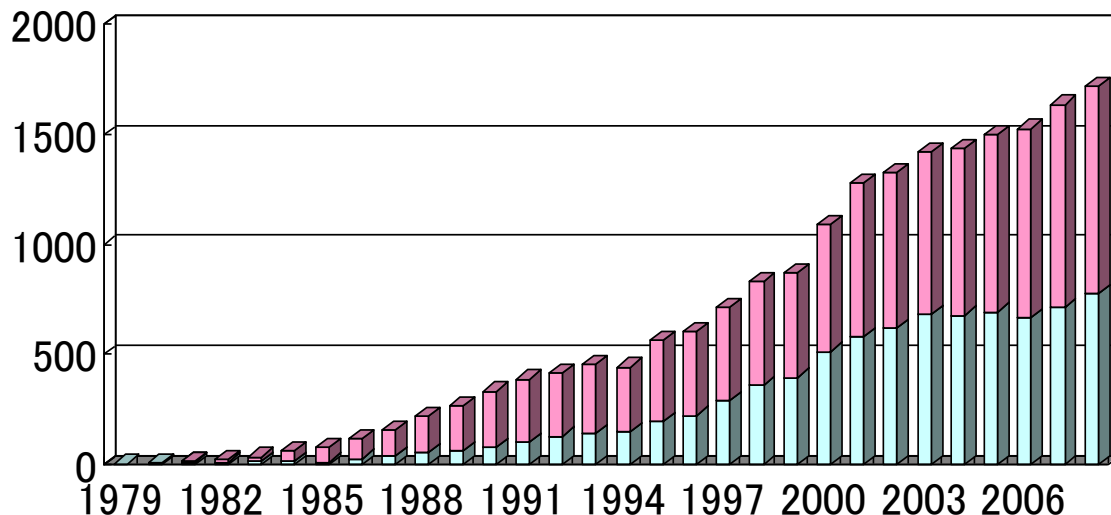
調査対象:外国語学校、出版社、電子辞書メーカー、ソフトメーカー、e-learning事業者、通信教育事業者、語学学習教材販売事業者、資格試験運営団体、留学斡旋業者、通訳・翻訳ビジネス事業等

- ・国内では2008年度で7,672億円の市場規模ですが、インターネットと携帯電話を活用したclick studyなら市場規模(需要)を拡大させることは可能であると判断しています。理由としては参考資料3・4のインターネット・携帯電話普及率を参照にして頂きたいと思います。因みに国内での携帯電話コンテンツの市場規模は1兆円とされています。

参考資料 2

TOEICテスト受験者数推移

(人数:千人)



■ 団体特別受験制度
■ 公開テスト

・英検1級～5級においては、2006年～2008年の3年間を単年で見ると受験志願者数は2百30万人～2百45万人の間で推移しています。

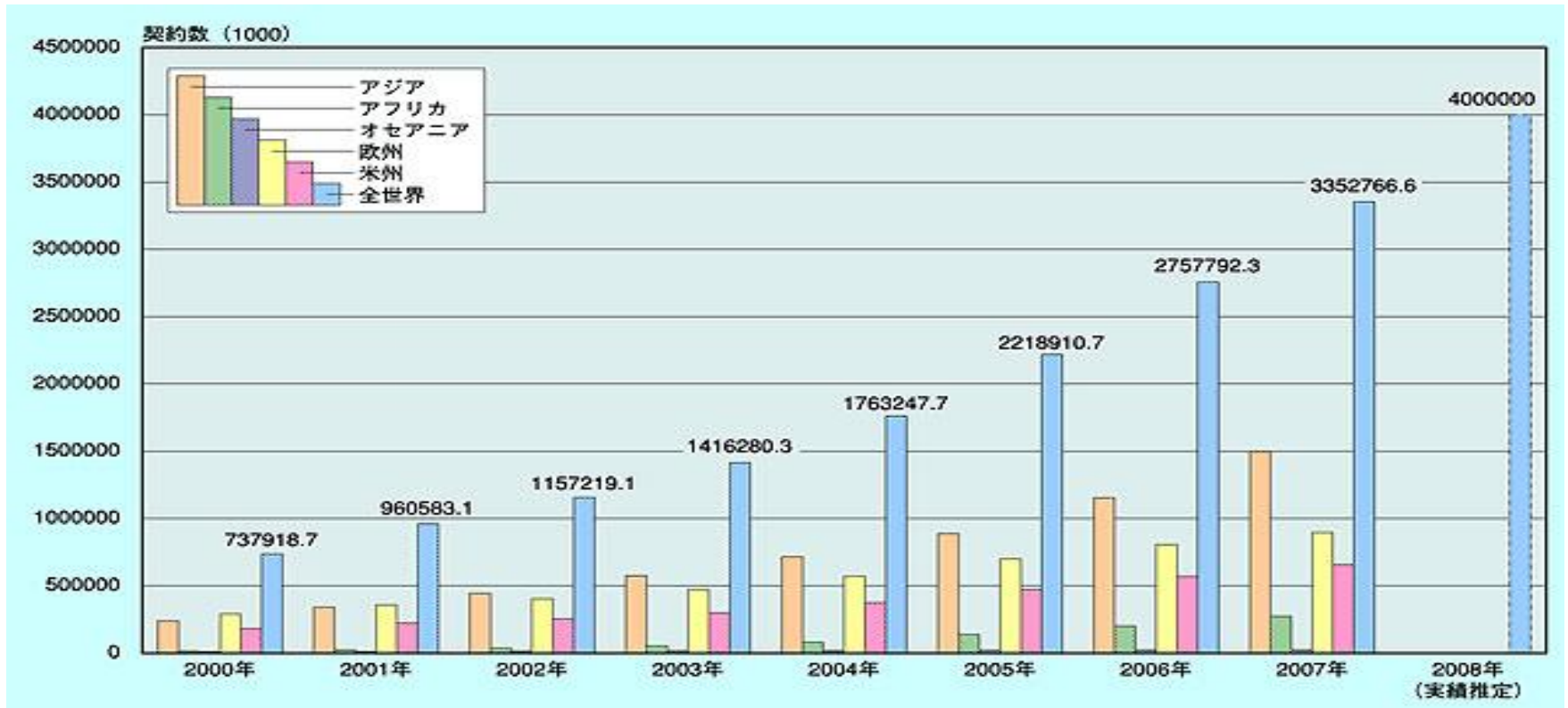
英会話関係書籍発行部数例

- ・英検〇級 教本シリーズ
- ・起きてから寝るまで英語表現 700
- ・絶対合格 英検〇級
- ・CD付 英検〇級問題集
- ・英語耳
- ・英語は逆から学べ
- ・英語高速メソッド

シリーズ累計1000万部
170万部
シリーズ累計170万部
シリーズ累計120万部
シリーズ累計68万部
シリーズ累計43万部
シリーズ累計38万部

参考資料 3

世界の携帯電話サービス契約数(2000年～2007年実績, 2008年実績推定)



英Informa Telecoms & Media社
他 ITU(ICT Statistics Database)なども参照

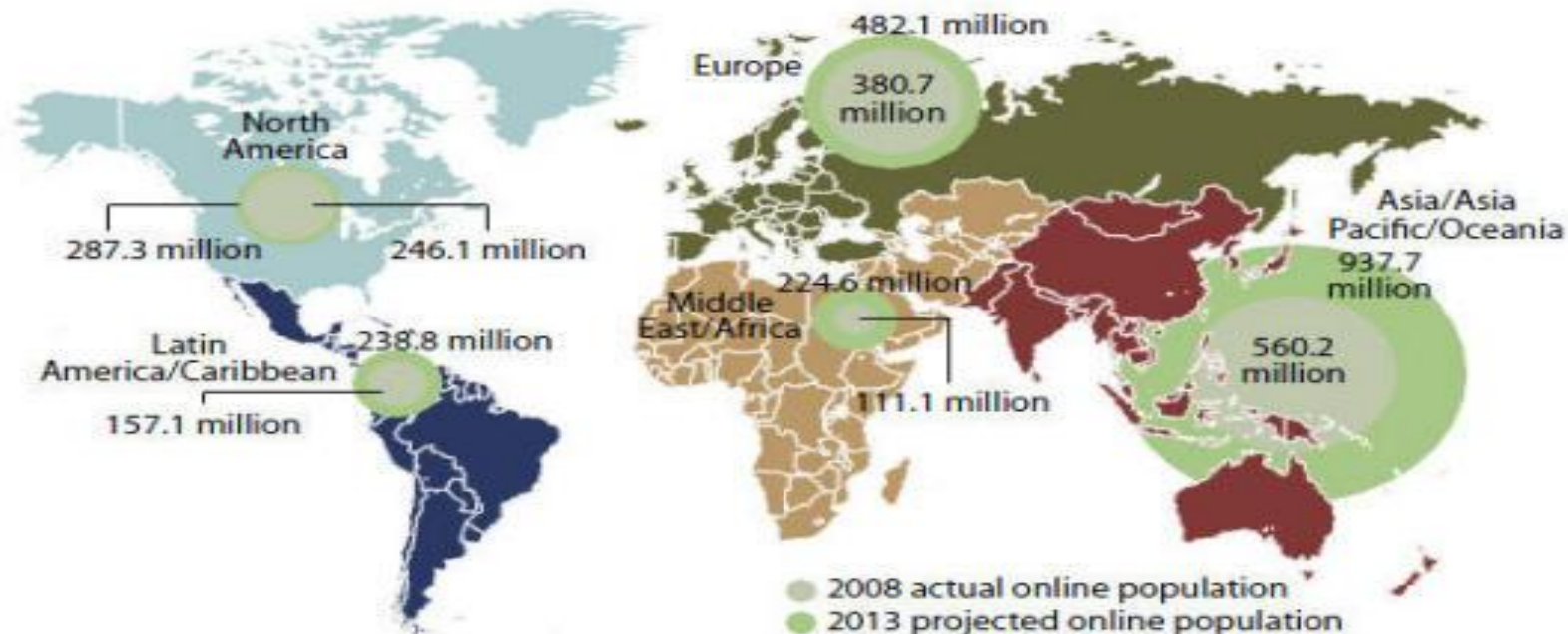
・2009年時点、全世界で携帯電話サービス加入者が40億に達しています。内訳としては急成長を続ける中国やインドが伸び率を拡大させています。

コンテンツにおいては、もう既に世界で加入者40億ほどのマーケットがあることを理解し、開拓を計らなければならないのです。そして、どのようなLIFE STYLEを提案出来るかが鍵となってきます。

参考資料 4

世界のインターネット人口予測

Figure 1 Growth Of The Global Internet Population By 2013



Source: Forrester Research Internet Population Forecast, 4/09 (Global)

53355

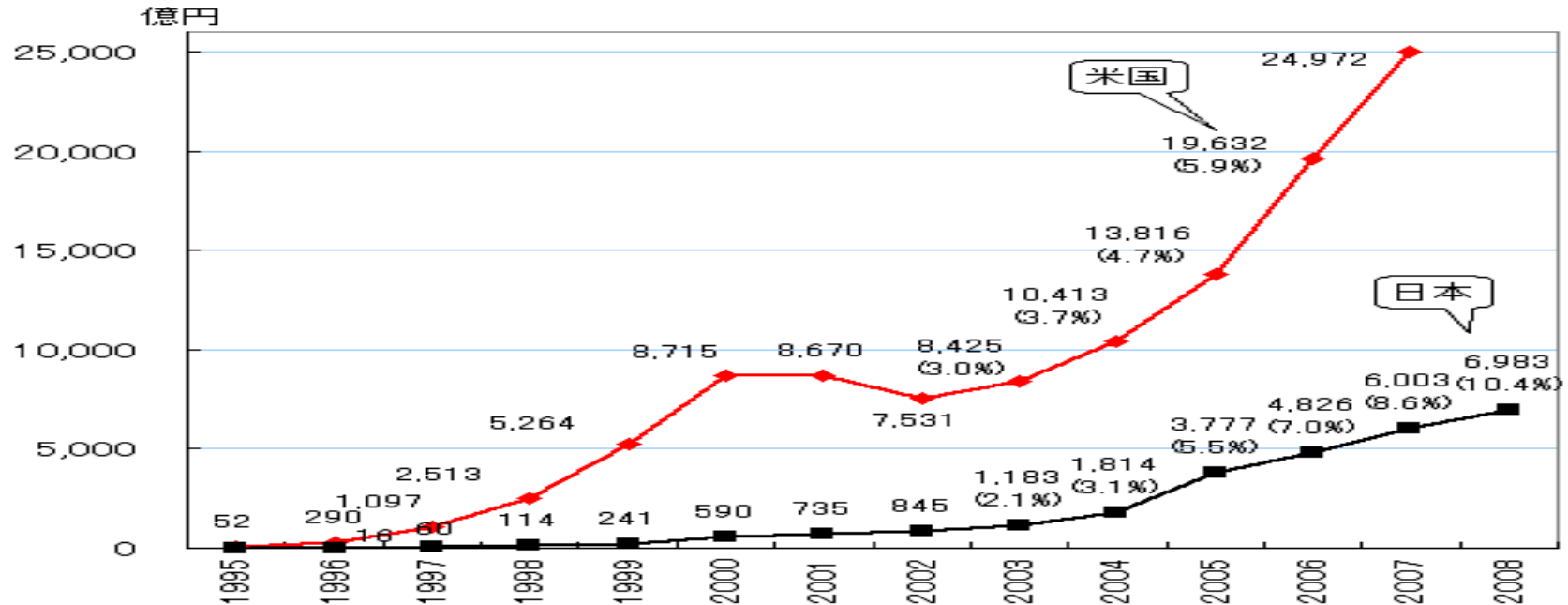
Source: Forrester Research, Inc.

他 ITU(ICT Statistics Database)なども参照

Forrester Researchの調査結果、予測からインターネット人口は2013年には22億人に達すると予測をしています。この22億人のうち、アジアが43%、ヨーロッパが22%、北アメリカが13%、ラテンアメリカが11%、アフリカが10%(少数点以下切り上げ)と大幅にアジアが占め、マーケットの大きさを如実に表しています。だからこそclick studyは、有効活用されるコンテンツになり得ると判断致します。

参考資料 5

インターネット 広告費の日米比較



(注) 円換算は東京市場インターバンク相場期中平均値を使用。カッコ内は広告費全体に占めるインターネット広告費の割合。日本の値、04年以前は広告制作費を含まず。

(資料) IAB Internet Advertising Revenue Report、電通「日本の広告費」

アメリカと日本を対象に見ると、広告費の推移は、パソコン、インターネットなどの普及率とリンクした形で成長を続けています。そうすると、まだ全世界には、少なからず成長し続ける部分を残しています。そして、携帯電話における広告費は、コンテンツの広がりから増加するのではないかと予測をするのが妥当であると考えべきでしょう。電通総研やシードプランニングなどの企業でも同じ予測見解がなされています。その伸び率は6%~13%、毎年、額面で500億~800億円の成長が見込まれます。

企画提案意図

新たな語学勉強のSTYLEをお届致します。未来には自己の可能性を増幅させる明るいLIFE STYLEが待ち受けていることでしょう。

いつでもどこでも学びたい語学に触れられる。そんな環境こそが、早く確実に語学を習得出来る環境であることは間違いないのです。なぜなら、私たちは親族や周りにいる人々に話しかけられて無意識に視覚や聴覚をフル稼働させ、心を育み、語学を習得してきているはずだからです。

